学校番号	１２０６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）基礎からの数学	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	自校作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小学校１年生～中学３年生の範囲を学習します。計算方法を理解し、様々な問題できちんと使うことが出来るようになることが目的です。また、習熟度別にクラスを分けて、各クラスにあった授業を展開し、生徒の実力を伸ばしていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
小・中学校で習った算数・数学の基礎的な知識・技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
問題の解き方を考えたり、間違えたときにどうすれば正解を導き出すことができるかを考えたりして、数学的に物事を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する態度の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などの知識を体系的に理解できる。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力や判断力が身に付いている。	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式	・整数、小数、分数、正の数・負の数、の四則混合計算を身につける。	a:四則演算ができる。 b:文章題などに活用する。 c:学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察
	文字式、一次方程式	・文字式について理解し、四則混合計算を身につける。 ・1 次方程式について理解し、文章を方程式にすることが出来る。また、文章を方程式にすることができる。 ・連立方程式を解くことができる。	a:文字式の決まりを理解している。 b:立式して方程式を解くことができる。 c:方程式を身の回りのことに積極的に活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察
	単位換算、速さ	・kmからmなどの単位換算ができる。 ・速さについて理解している。	a:単位の種類を理解し、単位が違う際に換算できる。 b:文章を読み、どのように換算しなければならないか判断できる。 c:実際のものと関連付けようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察
	関数	・座標、グラフの使い方を学び、1 次関数のグラフを描くことができる。	a:関数の式を求めることができる。 b:文章から関数の式を表現することができる。 c:日常生活において、関数を活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察
後期	展開、因数分解	・式の展開、因数分解を身につける。	a:式の展開・因数分解のやり方を理解できる。 b:公式が組み合わされた問題に活用できる。 c:自ら、多くの問題に取り組もうとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察

	平方根	・平方根の意味を理解する。また、√を含む四則計算を身につける。	a:平方根の意味が理解できる。 b:√がついている数のおおよその量が理解できる。 c:日常生活の中で、√を活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察
	２次方程式	・２次方程式について理解し、文章を方程式にすることが出来る。	a:２次方程式が解くことができる。 b: 因数分解との関連性を理解している。 c:２次方程式を身の回りのことに積極的に活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察
	図形	・三角形の合同と相似、三平方の定理、円の円周角や中心角などの図形問題を解くことができる。	a:角度を計算することができる。 b:三角形の合同と相似の条件について理解し、条件を判断できる。 c: 自ら、多くの問題に取り組もうとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	出席状況 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度